

かなしん景況レポート



提供 横須賀市
横須賀美術館 庭園

目次

景気動向	地域経済(全業種総合)	2
	業種別経済	6
	特別調査	18
お客様景況インタビュー	文明堂印刷 株式会社 「～お客様の期待を超える～」	19
トピックス	「神奈川県金融経済概況(日本銀行横浜支店:2023年6月)のポイント」	3
	「景気ウォッチャー調査」	9

調査概要

調査時期	令和5年5月16日から令和5年6月6日まで
調査地域	横須賀市・逗子市・三浦市・三浦郡葉山町・鎌倉市・横浜市・川崎市・藤沢市・茅ヶ崎市 大和市・綾瀬市・高座郡寒川町
調査方法	調査員による面接聞き取り方式又は対象企業先による直接記入方式
分析方法	各質問項目で、「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心にして分析を行いました。
回答率	調査先数 当金庫取引先 500先 回答先 490先 回答率 98.0%

全業種総合天気図

	2022年7～9月	2022年10～12月	2023年1～3月	2023年4～6月	2023年7～9月 来期予想
全業種総合					
製造業					
卸売業					
小売業					
サービス業					
建設業					
不動産業					
低調 ← 天気図 → 好調 この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。					

全業種総合

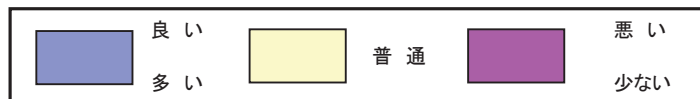
～業況は小売業、建設業を除く4業種で改善、卸売業は唯一プラス水準に～

当期実績(2023年 4～ 6月期実績)
来期予想(2023年 7～ 9月期予想)

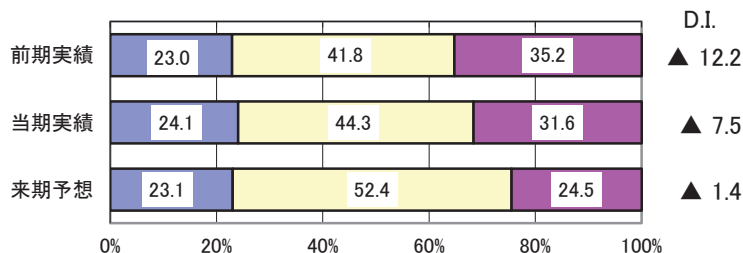
1. 業 況

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

当期の業況判断D. I. は▲7.5と、対前期比4.7ポイントの改善となりましたが、前回調査時における今期見通し(▲4.0)を3.5ポイント下回りました。業種別に見ると小売業、建設業を除く4業種で改善となり、卸売業は唯一プラス水準に転じました。来期予想D. I. は▲1.4と、6.1ポイントさらに改善となる見込みです。



業 況

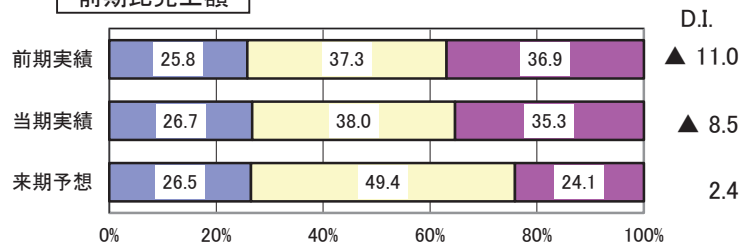


2. 売上額

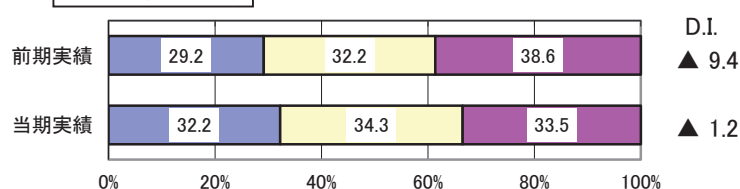
当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

当期の売上額判断D. I. は▲8.5と、対前期比2.5ポイントの小幅改善となりました。業種別に見ると建設業、不動産業を除く4業種で改善となり、建設業は大幅低下し、不動産業は横ばいとなりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲1.2と、1～3月期から8.2ポイントの改善となりました。来期予想D. I. は2.4と、10.9ポイント改善し、プラス水準に転じる見込みです。

前期比売上額



前年同期比売上額

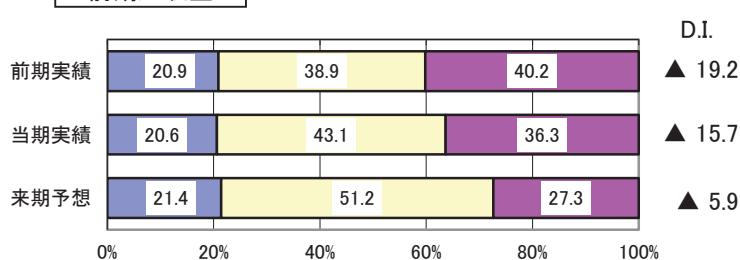


3. 収 益

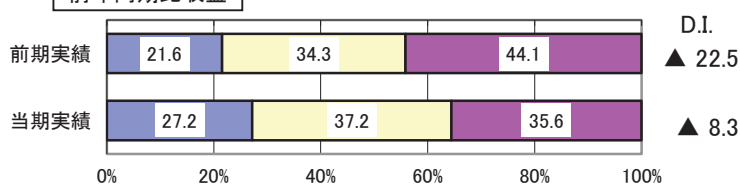
当期 予想
☔ ➡️ ☁️

当期の収益判断D. I. は▲15.7と、対前期比3.5ポイントの改善となりました。業種別に見ると、売上額同様、建設業、不動産業を除く4業種で改善となり、建設業は大幅低下し、不動産業は横ばいとなりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲8.3と、1～3月期から14.2ポイントの改善となりました。来期予想D. I. は▲5.9と、9.8ポイントの改善となる見込みです。

前期比収益



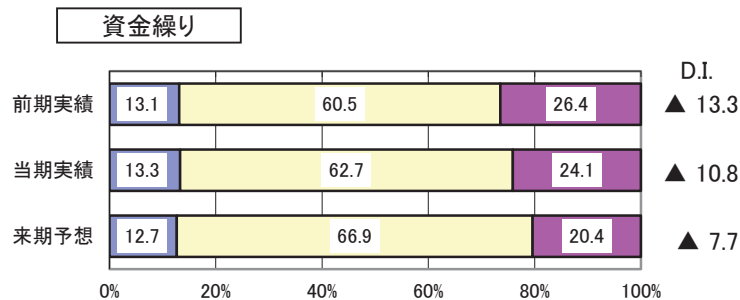
前年同期比収益



4. 資金繰り

当期 予想
☔ → ☁

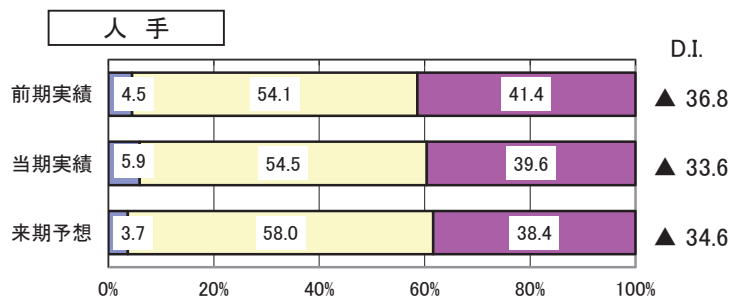
当期の資金繰り判断D. I. は▲10.8と、対前期比2.5ポイントの小幅改善となりました。業種別に見ると、卸売業、サービス業、建設業は改善となりました。不動産業は横ばいとなり、前期に続きプラス水準を維持しました。来期予想D. I. は、▲7.7と3.1ポイントの改善となる見込みです。



5. 雇用

当期 予想
☔ → ☔

当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲33.6と、対前期比3.2ポイントの改善となりました。業種別に見ると、製造業、小売業、不動産業は改善となりました。サービス業は、今期に続き来期も最も厳しい水準の業種となる見込みです。来期予想D. I. は▲34.6と、人手不足感は小幅に強まる見込みです。

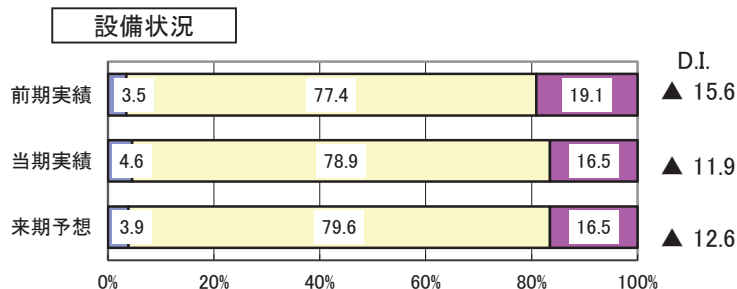


※雇用判断D.I.(過剰-不足) マイナスは人手不足

6. 設備状況

当期 予想
☔ → ☔

当期の設備状況判断D. I. は▲11.9と、対前期比3.7ポイントの改善となりました。来期予想D. I. は▲12.6と、不足感は小幅に強まる見込みです。



神奈川県金融経済概況(日本銀行横浜支店:2023年6月)のポイント

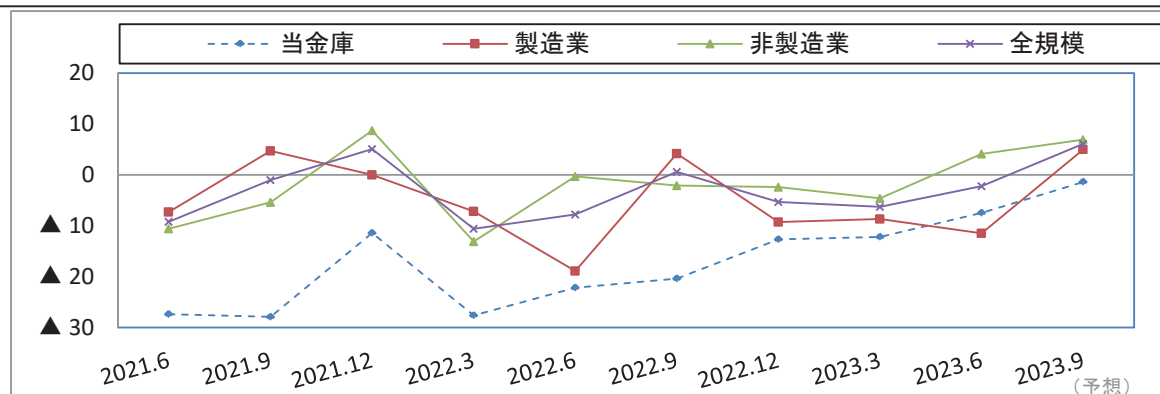
【総括判断】 供給制約の影響を残しつつ、緩やかに回復している。(県内景気判断 据え置き)

【主な個別項目の特記事項】

- 生産：供給制約の影響が残るほか、IT関連材需要の弱さを受けて、持ち直しの動きが一服している。
 - ・素材関連は、横ばいの圏内の動きとなっている。
- 個人消費：一部に弱めの動きもみられるものの、回復している。
 - ・スーパー販売額、ドラッグストア販売額は、底堅く推移しており、新車登録台数も回復している。
- 住宅投資：横ばい圏内の動きとなっている。
 - ・23年4月の新設住宅着工戸数は、分譲戸建てが増加したものの、分譲マンション、貸家、持ち家が減少したことから、全体では前年を下回った。

【先行きリスク要因】 海外経済の減速、コスト高(物価高)、供給制約の深刻化等。

法人企業景気予測調査(横浜財務事務所:全規模、製造業、非製造業)、当金庫業況DIの推移



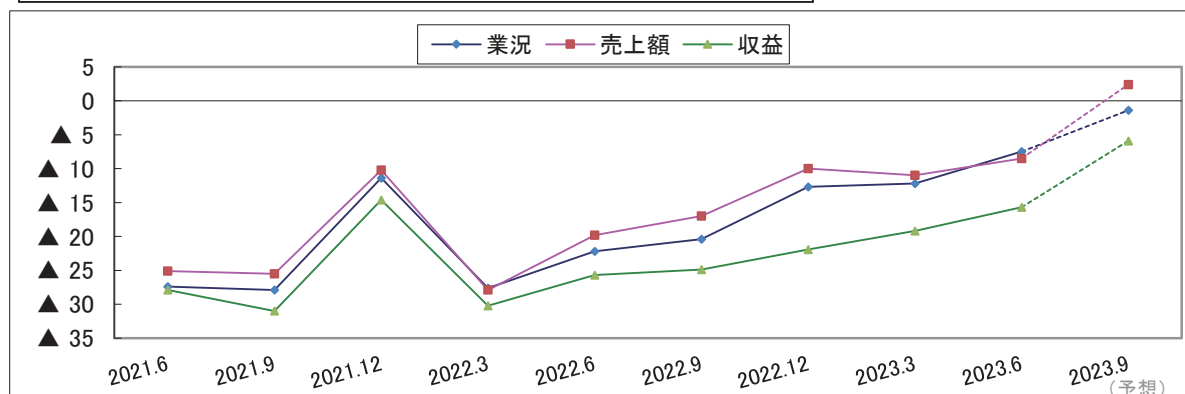
●法人企業景気予測調査 (令和5年4～6月期)

- ・大企業も含めた全規模・全産業の業況判断D. I. は▲2.2と、対前期比4.1ポイントの改善、来期は6.1と、さらに8.3ポイント改善しプラスに転じる見込みです。
- ・製造業の業況判断D. I. は▲11.5と、資材や燃料の高騰、米欧や中国等海外需要の縮小により、対前期比2.8ポイント低下しました。
- ・非製造業の業況判断D. I. は4.1と、対前期比8.7ポイント改善しました。新型コロナウイルス禍からの経済活動正常化で6四半期ぶりにプラスに転じました。
- ・製造業では石油製品、金属製品製造業が、非製造業では不動産業や運輸業が改善に寄与した業種となりました。

●当金庫景気動向調査

- ・全業種の業況判断D. I. は▲7.5と、対前期比4.7ポイントの改善となりました。来期は▲1.4と6.1ポイントの改善を見込んでいます。製造業と非製造業で集計したところ、当金庫では製造業は▲8.6と、12.9ポイントの改善、非製造業は▲7.2と3.0ポイントの改善となりました。

業況・売上額・収益D.I.の推移(全業種総合:当金庫)

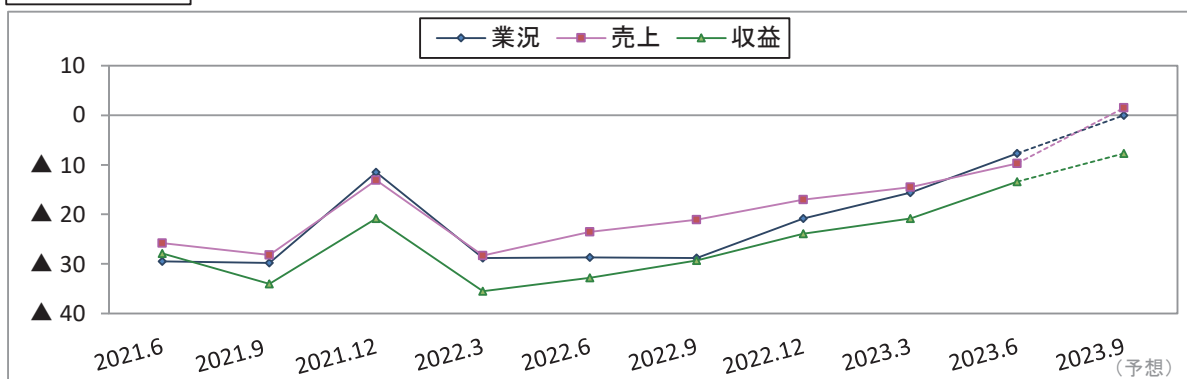


2023年4～6月期の業況判断D. I. は▲7.5と、対前期比4.7ポイントの改善となり、前回調査時における今期見通し (▲4.0) を3.5ポイント下回りました。売上額判断D. I. は▲8.5と、対前期比2.5ポイントの小幅改善、収益判断D. I. は▲15.7と、対前期比3.5ポイントの改善となりました。

「コロナ前の業績と比較すると近づいてきている。2025年度を目標に水準が戻るようにと考えているが、もう少し早い段階で回復できる可能性がみえてきた」(卸売業)、「燃料費高騰により、仕入費や包材等全体的に値上がっている」(小売業)、「特に大きな変化はないが、コスト上昇分の転嫁はやや苦戦している」(製造業)等、業種によって業況の回復を感じているコメントや業況を不安視するコメントが寄せられました。

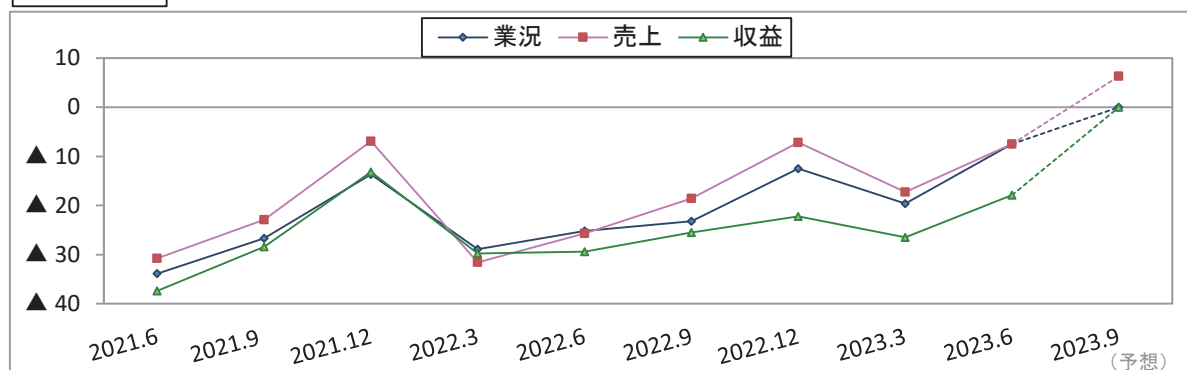
地区別の業況・売上・収益の推移(当金庫)

横須賀地区



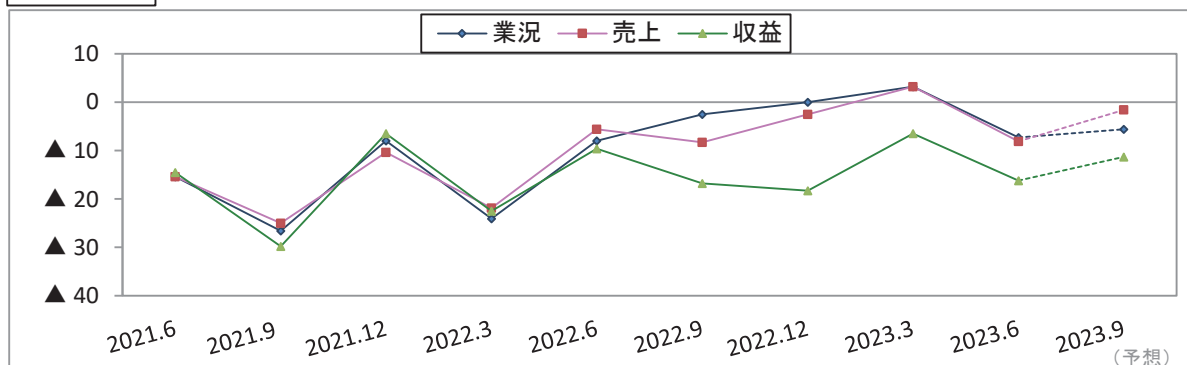
横須賀地区の2023年4～6月期の業況判断D. I. は▲7.7と、対前期比7.9ポイントの改善となり、売上、収益についても改善となりました。来期予想については、業況判断D. I. は0.0と7.7ポイントさらに改善となり、売上、収益についても改善を見込んでいます。

横浜地区



横浜地区の2023年4～6月期の業況判断D. I. は▲7.5と、対前期比12.1ポイントの改善となり、売上、収益についても改善となりました。来期予想については、業況判断D. I. は0.0と、さらに7.5ポイントの改善となり、売上、収益についても改善を見込んでいます。

藤沢地区

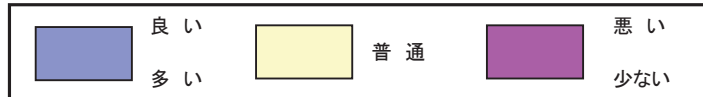


藤沢地区の2023年4～6月期の業況判断D. I. は▲7.3と、対前期比10.5ポイント低下し、売上、収益についても低下となりました。来期予想については、業況判断D. I. は▲5.6と、1.7ポイントの小幅改善となり、売上、収益についても改善を見込んでいます。

製造業

～業況、売上額は改善も、収益は改善するも厳しい水準続く見込み～

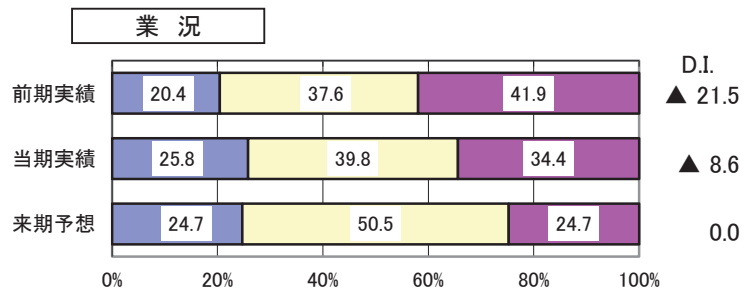
当期実績(2023年 4～ 6月期実績)
来期予想(2023年 7～ 9月期予想)



1. 業 況

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

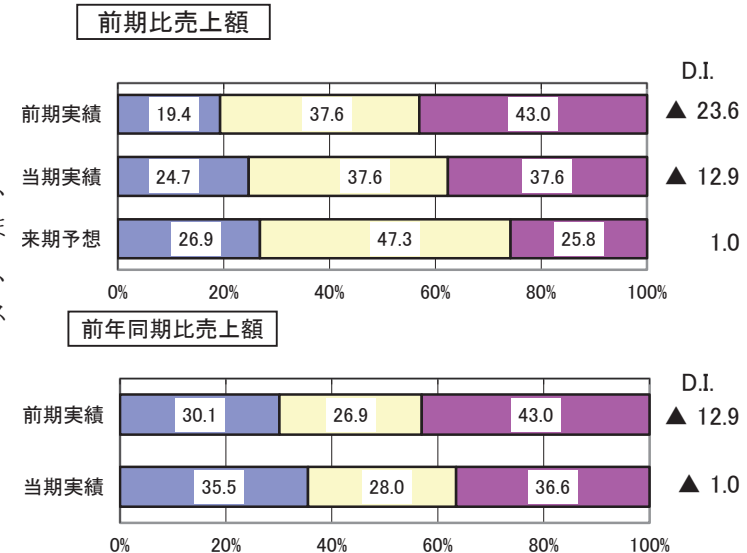
当期の業況判断D. I. は▲8.6と、対前期比12.9ポイントの改善となり、前回調査時における今期見通し(2.1)を10.7ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は0.0と、8.6ポイントさらに改善となる見込みです。



2. 売上額

当期 予想
☔ ➡️ ☁️

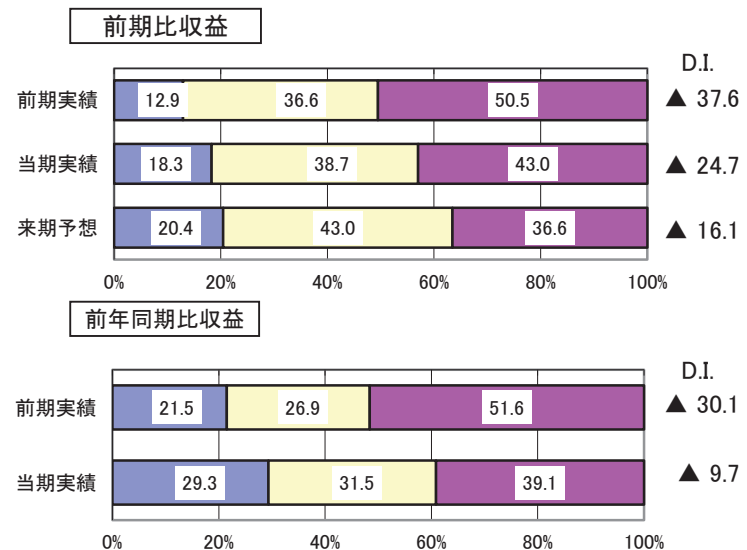
当期の売上額判断D. I. は▲12.9と、対前期比10.7ポイントの改善となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲1.0と、1～3月期から11.9ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は1.0と、さらに13.9ポイントの改善となり、プラス水準に転じる見込みです。



3. 収 益

当期 予想
☔ ➡️ ☔

当期の収益判断D. I. は▲24.7と、対前期比12.9ポイントの改善となりましたが、最も厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲9.7と、1～3月期から20.4ポイントの大幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲16.1と、さらに8.6ポイントの改善となりますが、来期も今期実績同様、最も厳しい水準の業種となる見込みです。

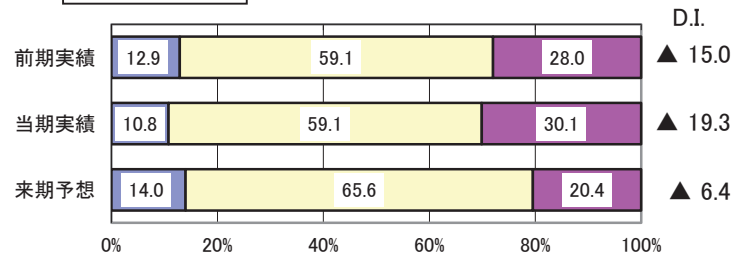


4. 資金繰り

当期 予想
☔ → ☁

当期の資金繰り判断D. I. は▲19.3と、対前期比4.3ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲6.4と、12.9ポイントの改善となる見込みです。

資金繰り

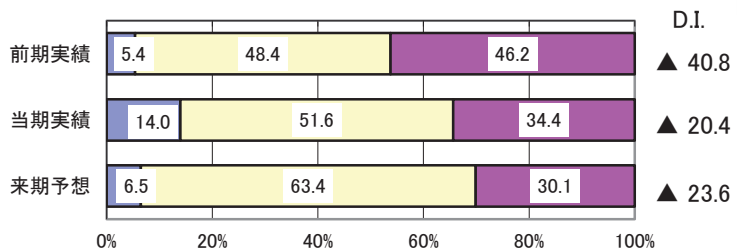


5. 雇用

当期 予想
☔ → ☔

当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲20.4と、対前期比20.4ポイントの大幅改善となり、マイナス水準ながら最も改善幅が大きな業種となりました。来期予想については、D. I. は▲23.6と、人手不足感は再び強まる見込みです。

人手

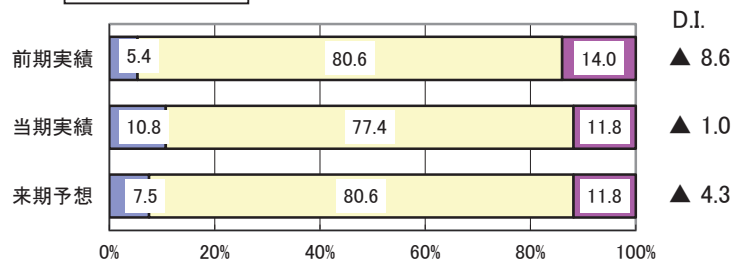


6. 設備状況

当期 予想
☁ → ☁

当期の設備状況判断D. I. は▲1.0と、対前期比7.6ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲4.3と、不足感は再び強まる見込みです。

設備状況



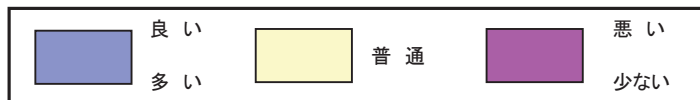
調査先のコメント

- 売上高は、今後減少傾向だが、原材料価格高騰分の販売価格への転嫁が一定程度進んできている。
- 業況が厳しいため、機械の入れ替えができず、修理して使用している。修理代金が高く、収益減少となっている。
- 電子帳簿保存法対応のため、IT導入補助金の申請をしたが、不慣れで時間がかかってしまった。
- 特に大きな変化はないが、コスト上昇分の転嫁はやや苦戦している。
- 発電会社の据付工事が完了し、現在、受注活動に専念している。防衛予算が増額され、国からの工事量及び受注単価が増加している。
- 売上は、5%程度伸びているものの、昨年同時期の収支と比べると半減している。それだけ経費高であり、特に電気、ガス、材料(薬剤)の値上がりは厳しく、これらを転嫁できるかという点、メーカーからは、認めてもらえないため、大変苦労している。また、働き方改革、2024年問題、中国を含む国際情勢が不安定さを増してきているため、うまく経済が回ればいいが、経費高の幅が大きく、追いついていないことが、どの中小企業も悩みかと思われる。早く適正価格を認めてもらえるよう努力を続ける。
- 半導体不足が少しずつ回復し、車の製造は増加傾向である。業況の回復を実感しつつある。
- 水素資源の活用や、メタンハイド水素とアンモニアを分離する新しい技術にチャレンジし、軽自動車業界への参入を検討している。
- 2極化が進み、零細企業にとっては厳しい時が流れると思う。時間は有限なので、アイデアと行動力で勝ち組に入りたい。

卸 売 業

～業況は全業種で最も良い水準に、来期も引き続きプラス水準維持する見込み～

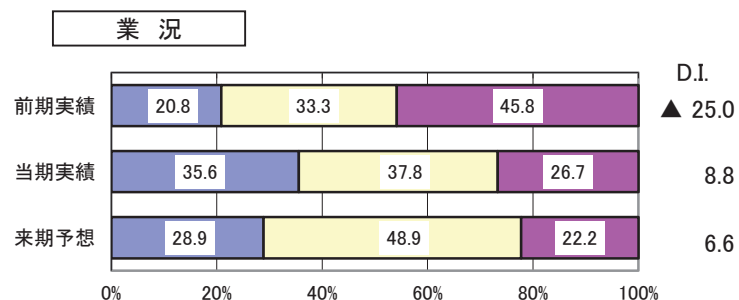
当期実績(2023年 4～ 6月期実績)
来期予想(2023年 7～ 9月期予想)



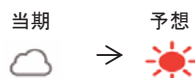
1. 業 況



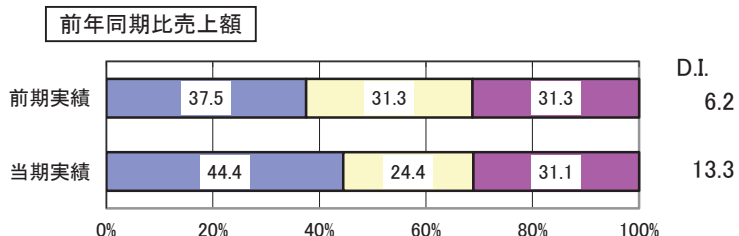
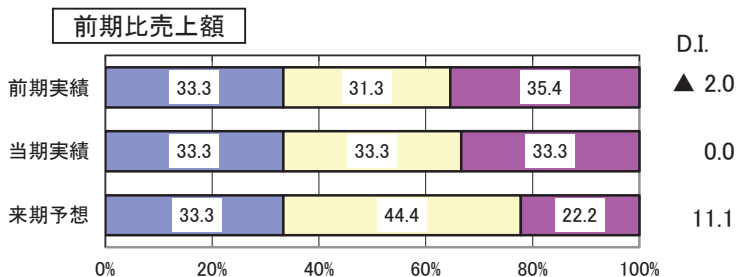
当期の業況判断D. I. は8.8と、対前期比33.8ポイントの大幅改善となり、最も良い水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し(▲8.3)を17.1ポイント上回りました。来期予想については、D. I. は6.6と、2.2ポイントの小幅低下となりますが、来期も今期実績同様、最も良い水準の業種となる見込みです。



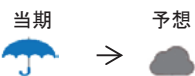
2. 売上 額



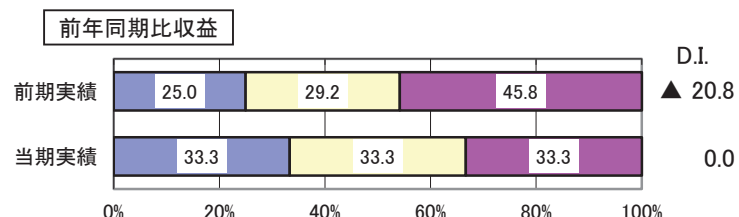
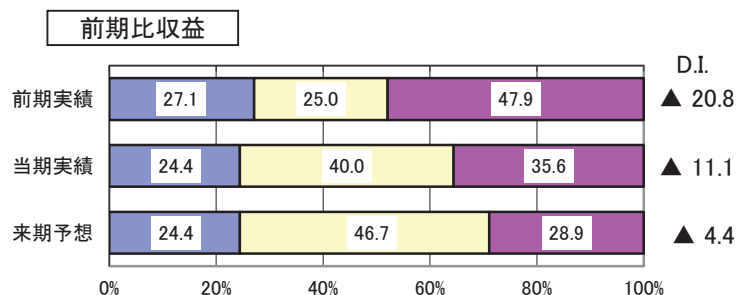
当期の売上額判断D. I. は0.0と、対前期比2.0ポイントの小幅改善となり、サービス業に次いで、良い水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は13.3と、1～3月期から7.1ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は11.1と、11.1ポイントの改善となり、最も良い水準の業種となる見込みです。



3. 収 益



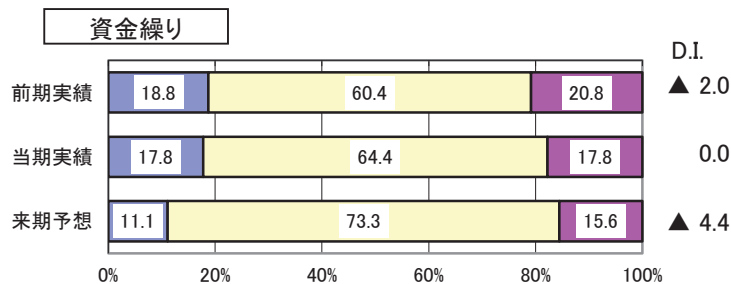
当期の収益判断D. I. は▲11.1と、対前期比9.7ポイントの改善となり、マイナス水準ながら売上額同様、サービス業に次いで良い水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は0.0と、1～3月期から20.8ポイントの大幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲4.4と、さらに6.7ポイントの改善となる見込みです。



4. 資金繰り

当期 予想
☁️ ➔ ☁️

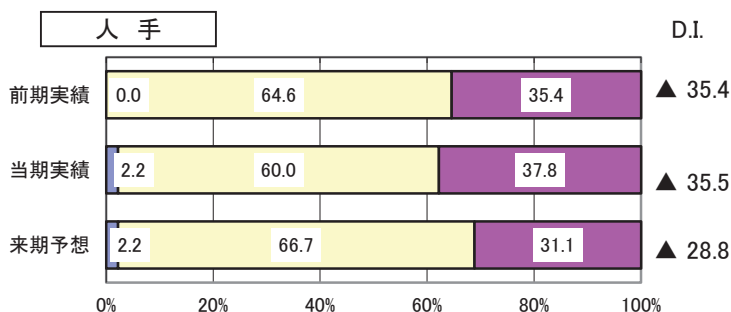
当期の資金繰り判断D. I. は0.0と、対前期比2.0ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲4.4と、4.4ポイントの低下となる見込みです。



5. 雇用

当期 予想
☔ ➔ ☔

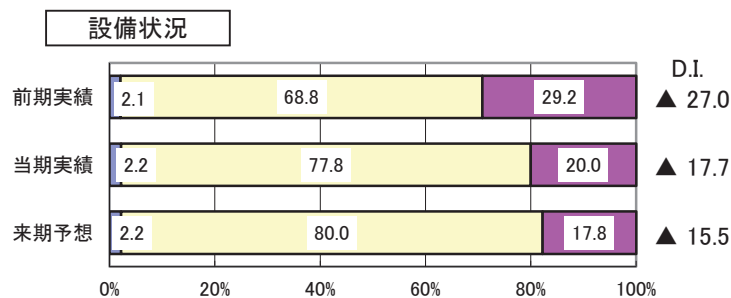
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲35.5と、対前期比0.1ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲28.8と、人手不足感は緩和する見込みです。



6. 設備状況

当期 予想
☔ ➔ ☔

当期の設備状況判断D. I. は▲17.7と、対前期比9.3ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲15.5と、不足感はさらに小幅に緩和する見込みです。



調査先のコメント

- 昨年来、今までにない色々な商品の価格の値上げが続いている。
- ウッドショックが落ち着き、在庫過多を解消できた。仕入価格が下がり始めたため、売上は少し落ち着く模様。
- GWが終わり、湘南方面の観光客が減ったような気がする。思ったより景気は弱いのではないかなと思う。
- コロナ前の業績と比較すると近づいてきている。2025年度を目標に水準が戻るようにと考えているが、もう少し早い段階で回復できる可能性が見えてきた。

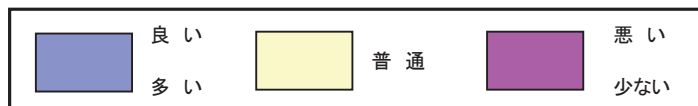
景気ウォッチャー調査

景気ウォッチャー調査は、北は北海道から南は沖縄までの12地域を対象に、スーパー、コンビニなどの店長や、タクシー運転手など、景気に敏感な職種の約2000人にインタビューし、調査結果を集計・分析して、景気動向を示す指標の一つとして内閣府が毎月公表しています。現状を示す現状判断DI、2～3カ月先の見通しを示す先行き判断DIを、家計動向、企業動向、雇用などの部門別に公表しています。DIの数値は50が横ばいを表し、これを上回ると「景気が良い」、下回ると「景気が悪い」と感じる人が多いことを表します。数値の他に「外出する人の数が増えており、来客数が伸びている」等のコメントも公表され、よりリアルな景気動向がつかめます。

小 売 業

～業況は最も厳しい水準、来期は業況、売上額、収益は改善となる見込み～

当期実績(2023年 4～ 6月期実績)
来期予想(2023年 7～ 9月期予想)

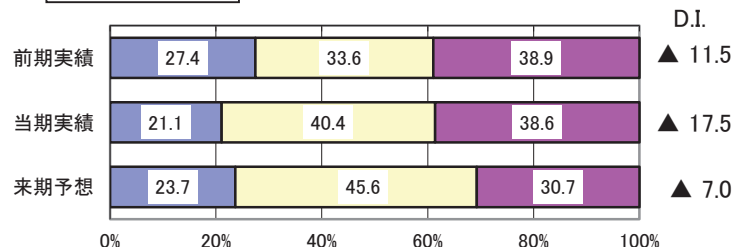


1. 業 況

当期 予想
☔ → ☁

当期の業況判断D. I. は▲17.5と、対前期比6.0ポイントの低下となり、最も厳しい水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し(▲4.4)を13.1ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は▲7.0と、10.5ポイント改善となりますが、来期も今期実績同様、最も厳しい水準の業種となる見込みです。

業 況

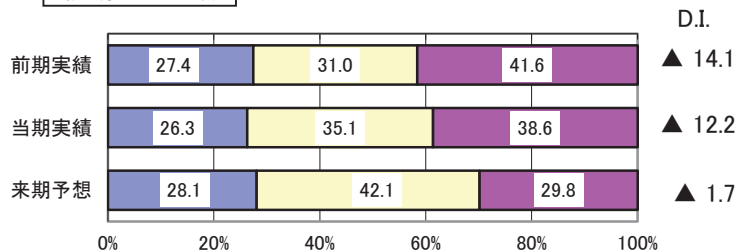


2. 売上 額

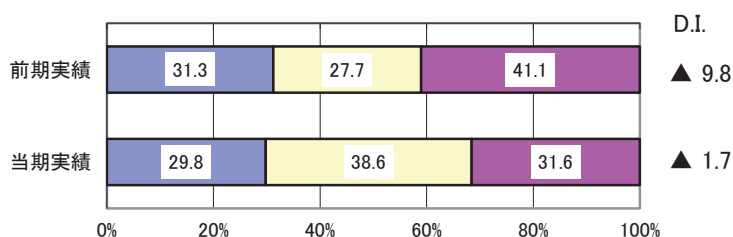
当期 予想
☔ → ☁

当期の売上額判断D. I. は▲12.2と、対前期比1.9ポイントの小幅改善となりましたが、建設業に次いで厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲1.7と、1～3月期から8.1ポイント改善となりました。来期予想については、D. I. は▲1.7と、さらに10.5ポイントの改善となる見込みです。

前期比売上額



前年同期比売上額

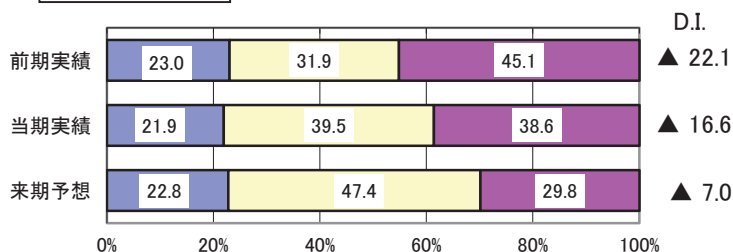


3. 収 益

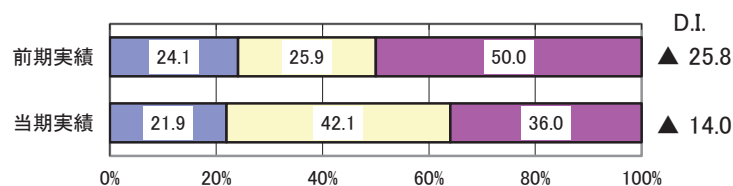
当期 予想
☔ → ☁

当期の収益判断D. I. は▲16.6と、対前期比5.5ポイントの改善となりましたが、製造業に次いで厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲14.0と、1～3月期から11.8ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲7.0と、さらに9.6ポイントの改善となる見込みです。

前期比収益



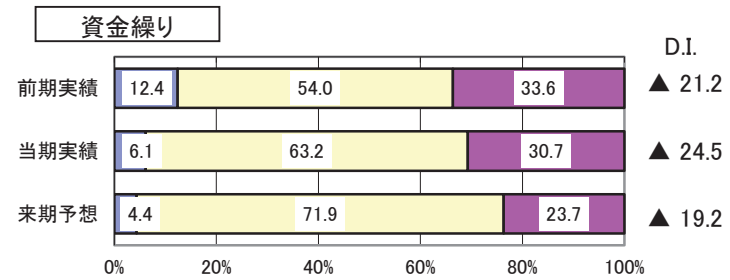
前年同期比収益



4. 資金繰り

当期 予想
☔ → ☔

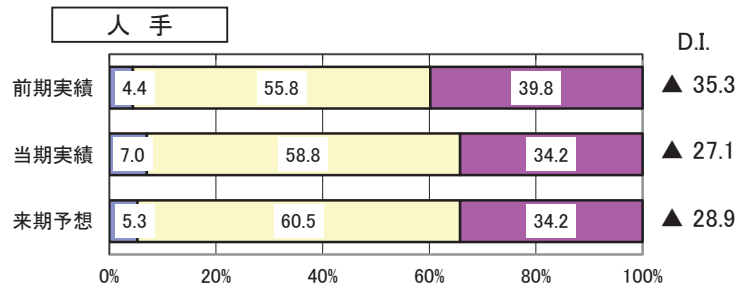
当期の資金繰り判断D. I. は▲24.5と、対前期比3.3ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲19.2と、5.3ポイントの改善となりますが、最も厳しい水準の業種となる見込みです。



5. 雇用

当期 予想
☔ → ☔

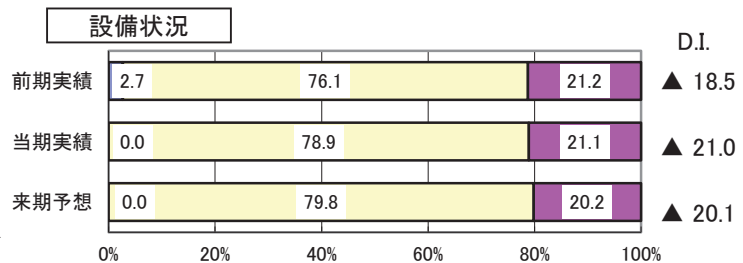
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲27.1と、対前期比8.2ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲28.9と、再び人手不足感は小幅に強まる見込みです。



6. 設備状況

当期 予想
☔ → ☔

当期の設備状況判断D. I. は▲21.0と、対前期比2.5ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲20.1と、不足感は小幅に緩和する見込みです。



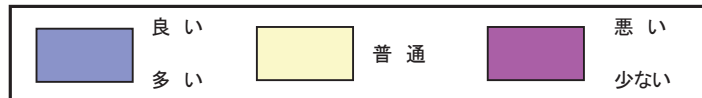
調査先のコメント

- 3～4月は景気が良かった。景気は少し戻りつつあると感じる。
- メーカーが車両の増産ができず、受注はあるが売上計上できていない。他メーカーより回復が遅い。
- 物販の売上が伸びており、徐々に個人消費が増えていると思う。住宅設備への消費が増えてきた。
- 4月は客足も少し戻り、売上も15%（対昨年比）程度増加した。新型コロナ対応が5月8日に5類になり、GWは行楽や外出に出費が集中し、物販は客単価が下落している。個人消費が本格的に立ち直ることを期待する。
- 消費者の動きが活発になってきたが、昨今の物価上昇が上回っていて、景気がプラスになってきたように感じられない。
- 高齢化社会が進んでいると感じる。街を歩いてもお年寄りが多く、子供が少ない。
- 光熱費等の値上がりにより、予想以上のダメージを受けている。値上げをしたが、再度値上げしにくいのが悩みである。
- 燃料費高騰により、仕入費や包材等全体的に値上がりしている。
- コロナが5類になりGWの人出が増え、観光地では外国人が増加したことも相まって、売上と収益はやや増えているが、従業員が不足気味なのは大変である。
- 商品の価格上昇は買い控えを生み、売上減少となっている。

サービス業

～売上額、収益は最も良い水準も、来期は再び低下、横ばいとなる見込み～

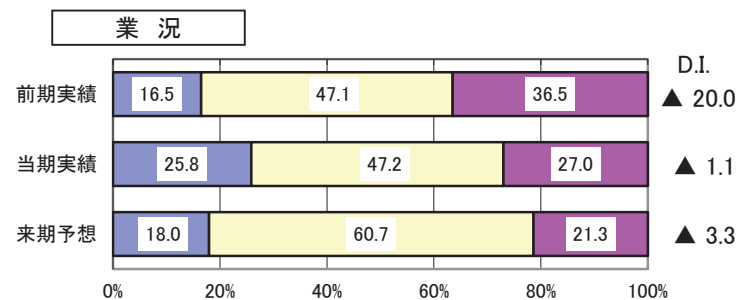
当期実績(2023年 4～ 6月期実績)
来期予想(2023年 7～ 9月期予想)



1. 業 況

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

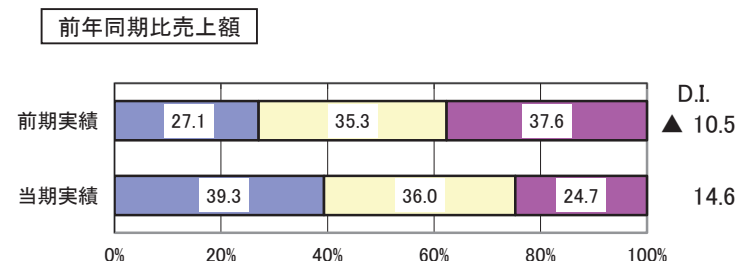
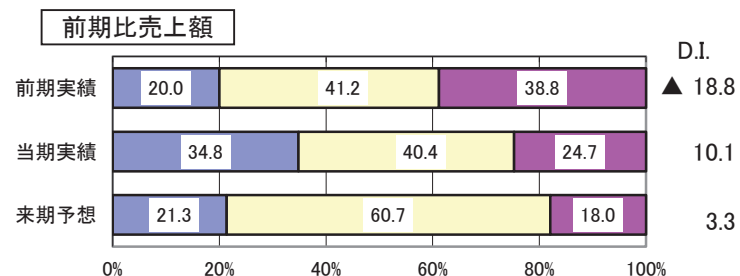
当期の業況判断D. I. は▲1.1と、対前期比18.9ポイントの改善となり、卸売業に次いで、良い水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し(▲5.8)を4.7ポイント上回りました。来期予想については、D. I. は▲3.3と、2.2ポイント小幅に低下する見込みです。



2. 売上額

当期 予想
☀️ ➡️ ☁️

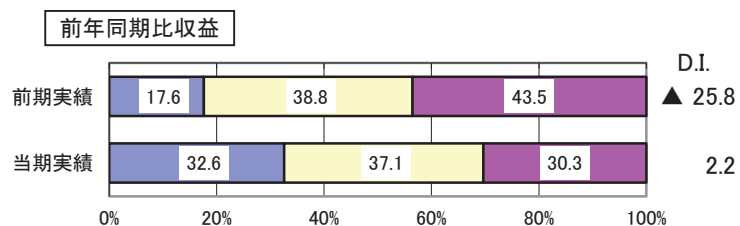
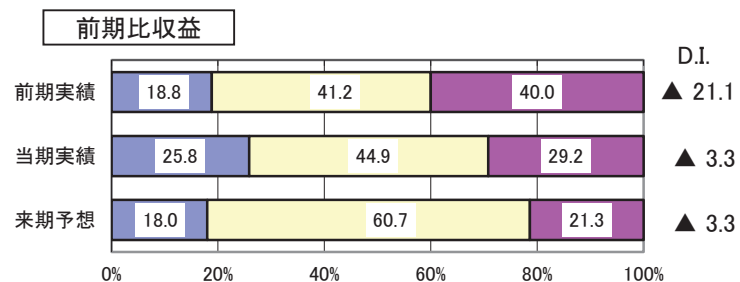
当期の売上額判断D. I. は10.1と、対前期比28.9ポイントの大幅改善となり、最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は14.6と、1～3月期から25.1ポイントの大幅改善となりました。来期予想については、D. I. は3.3と、6.8ポイントの低下となりますが、プラス水準を維持する見込みです。



3. 収 益

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

当期の収益判断D. I. は▲3.3と、対前期比17.8ポイントの改善となり、全業種で最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は、2.2と、1～3月期から28.0ポイントの大幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲3.3と、横ばいとなる見込みです。

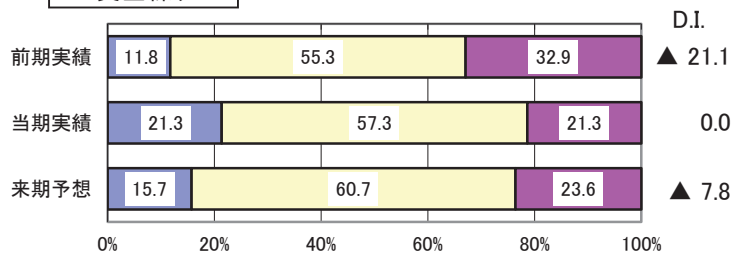


4. 資金繰り

当期 予想
☁️ ➔ ☁️

当期の資金繰り判断D. I. は0.0と、対前期比21.1ポイントの大幅改善となり、不動産業に次いで良い水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲7.8と、7.8ポイントの低下となる見込みです。

資金繰り

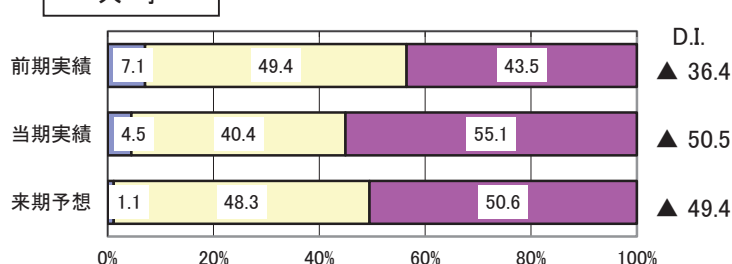


5. 雇用

当期 予想
☔ ➔ ☔

当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲50.5と、対前期比14.1ポイントの低下となり、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は49.4と、人手不足感は小幅に緩和しますが、今期実績同様、来期も最も厳しい水準となる見込みです。

人手

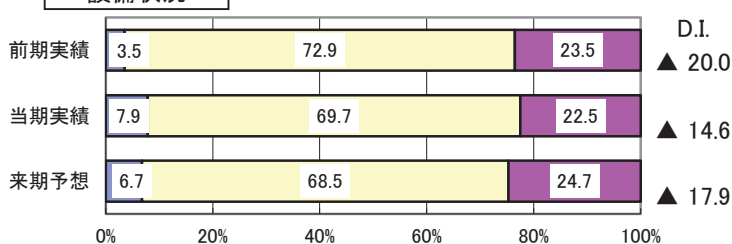


6. 設備状況

当期 予想
☔ ➔ ☔

当期の設備状況判断D. I. は▲14.6と、対前期比5.4ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲17.9と、不足感は再び強まる見込みです。

設備状況



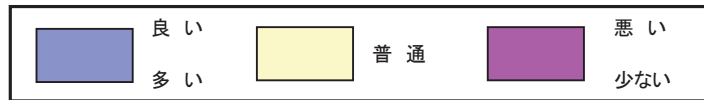
調査先のコメント

- 全ての物価が高騰する中、運賃だけが上がらない。
- 少し売上が増加した。
- 物価高でやや重い動きが続いている。
- 2024年問題で8時間労働になるため、労働時間が短くなり売上は必ず減少する。それをどうしていくかが、これから大変である。(運輸業)
- 2019年度のインバウンド比率は、売上全体の3%くらいでしたが、2023年度は10%くらいまで上がってきている。コロナ感染症が5類になり国内需要が増える中、インバウンドの売上がさらに全体の売上を押し上げている。
- 少子化による悪い影響は、今のところ出ていない。
- コロナ収束以降、景気は良い方向に向かっていると思えるものの、燃料代の動きは重要なポイントである。
- 近隣競合店が閉鎖や縮小している。

建設業

～業況、売上額、収益は低下も、来期は業況、売上額はプラス水準となる見込み～

当期実績(2023年 4～ 6月期実績)
来期予想(2023年 7～ 9月期予想)

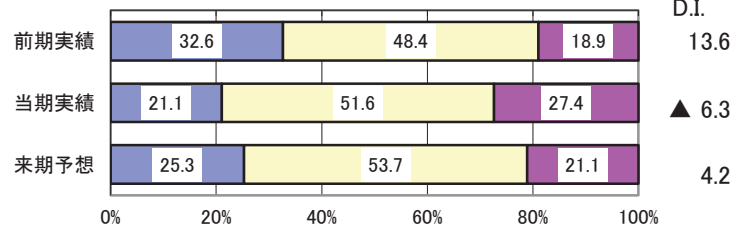


1. 業 況

当期 予想
☁️ ➔ ☁️

当期の業況判断D. I. は▲6.3と、対前期比19.9ポイントの低下となり、最も低下幅の大きな業種となりました。前回調査時における今期見通し(3.1)を9.4ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は4.2と、10.5ポイントの改善となり再びプラス水準に転じる見込みです。

業 況

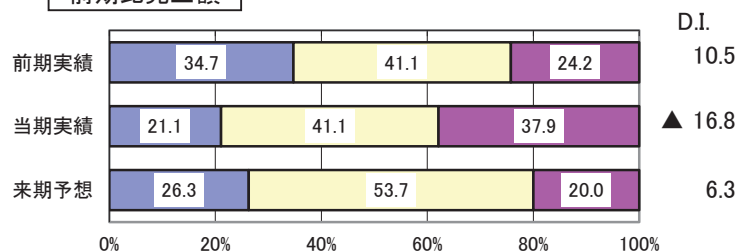


2. 売上額

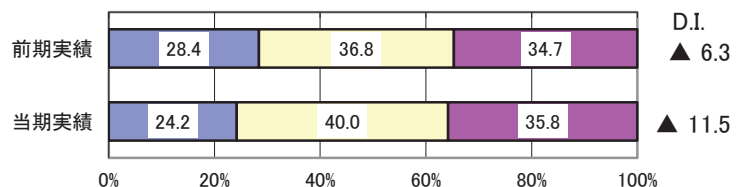
当期 予想
☔ ➔ ☁️

当期の売上額判断D. I. は▲16.8と、対前期比27.3ポイントの大幅低下となり、全業種で最も厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲11.5と、1～3月期から5.2ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は6.3と、23.1ポイントの大幅改善となり、再びプラス水準に転じる見込みです。

前期比売上額



前年同期比売上額

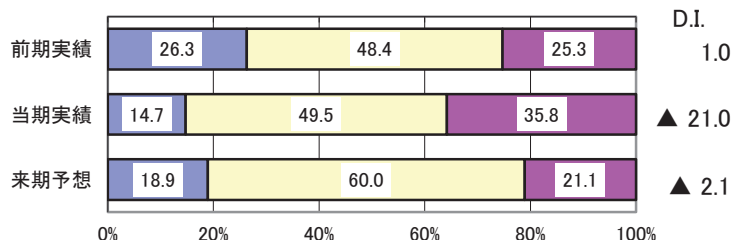


3. 収 益

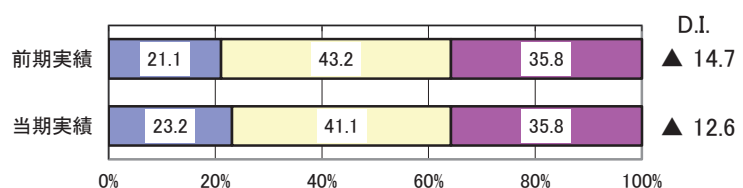
当期 予想
☔ ➔ ☁️

当期の収益判断D. I. は▲21.0と、対前期比22.0ポイントの大幅低下となり、製造業に次いで厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲12.6と、1～3月期から2.1ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲2.1と、18.9ポイントの改善となる見込みです。

前期比収益



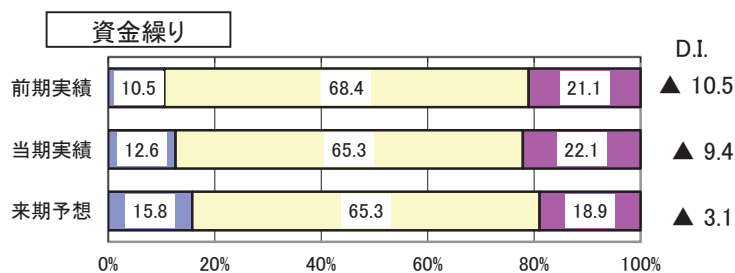
前年同期比収益



4. 資金繰り

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

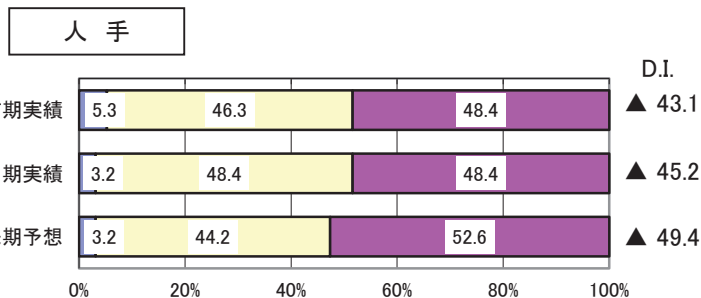
当期の資金繰り判断D. I. は▲9.4と、対前期比1.1ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲3.1と、さらに6.3ポイントの改善となる見込みです。



5. 雇 用

当期 予想
☔ ➡️ ☔

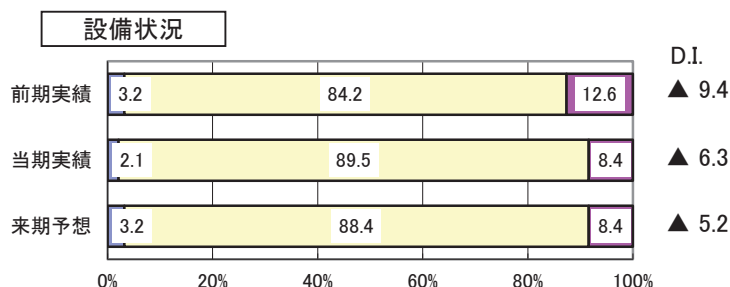
当期の雇用判断D. I. (過剰－不足) は▲45.2と、対前期2.1ポイントの小幅低下となり、サービス業に次いで、厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲49.4と、4.2ポイントの低下となり、人手不足感は強まる見込みです。



6. 設備状況

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

当期の設備状況判断D. I. は▲6.3と、対前期比3.1ポイントの改善となり、マイナス水準ながらも、製造業に次いで良い水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲5.2と、不足感は小幅に緩和する見込みです。



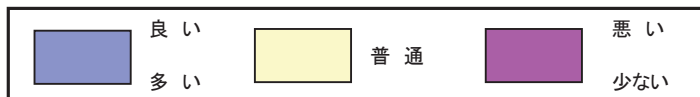
調 査 先 の コ メ ン ト

- 先々の計画、見積依頼は増えたが、直近での工事量（同業者内）が減少している。景気動向を大手会社が見据えているように感じる。
- 人件費、原材料、光熱費の上昇が起こっている。価格転嫁は半分程度で、厳しい状況が今後も続く見込み。中小企業単体での対応は難しく、友好的な企業同士が手を組み状況を打開するなど、今までにない対応も視野に入れることも必要であると考えている。
- リモートワークの普及により、郊外型マンションの需要が約10%増加しているが、人手不足及び職人の流動化により、受注辞退が起こっている。

不動産業

～人手、資金繰りは最も良い水準も、業況、売上額はマイナス水準続く見込み～

当期実績(2023年 4～ 6月期実績)
来期予想(2023年 7～ 9月期予想)

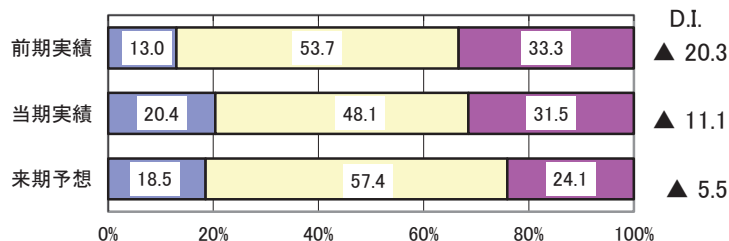


1. 業 況

当期 予想
☔ → ☁

当期の業況判断D. I. は▲11.1と、対前期比9.2ポイントの改善となり、小売業に次いで厳しい水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し(▲20.3)を9.2ポイント上回りました。来期予想についても、D. I. は▲5.5と、5.6ポイントの改善となりますが、今期実績同様、小売業に次いで厳しい水準の業種となる見込みです。

業 況

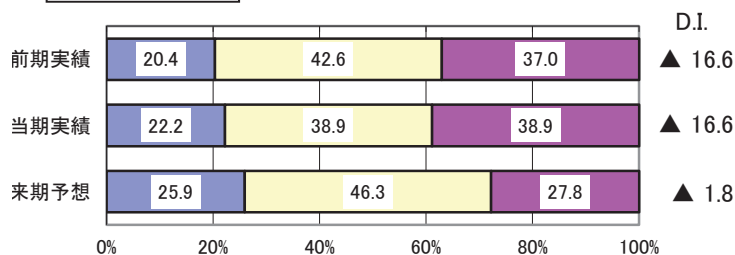


2. 売上額

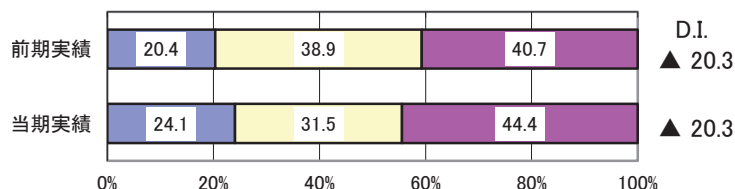
当期 予想
☔ → ☁

当期の売上額判断D. I. は▲16.6と、横ばいとなりました。対前年同期比の売上額判断D. I. についても▲20.3と、1～3月期から横ばいとなりました。来期予想については、D. I. は▲1.8と、14.8ポイントの改善となりますが、最も厳しい水準の業種となる見込みです。

前期比売上額



前年同期比売上額

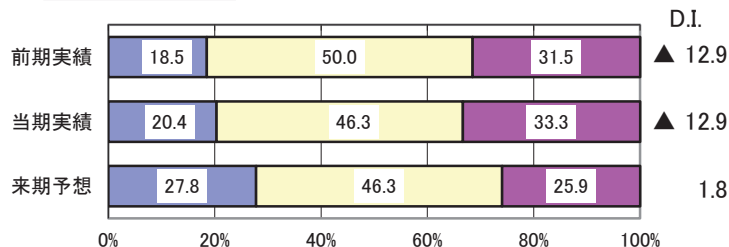


3. 収 益

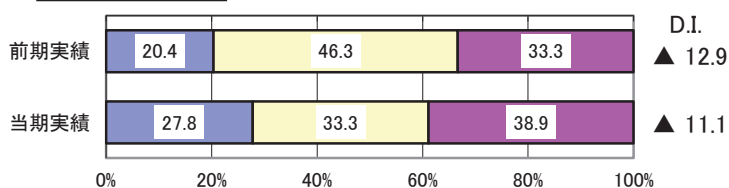
当期 予想
☔ → ☁

当期の収益判断D. I. は▲12.9と、横ばいとなりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲11.1と、1～3月期から1.8ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は1.8と、14.7ポイントの改善となり、プラス水準に転じる見込みです。

前期比収益



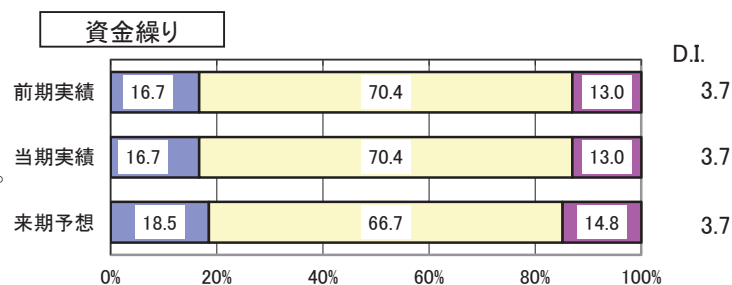
前年同期比収益



4. 資金繰り

当期 予想
☁️ ➔ ☁️

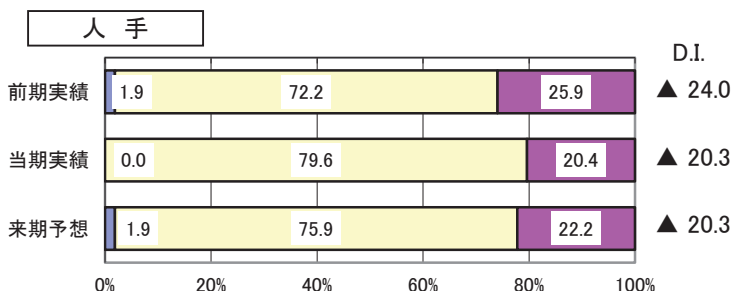
当期の資金繰り判断D. I. は3.7と、横ばいとなり、最も良い水準の業種となりました。来期予想についても、D. I. は3.7と、横ばいとなり、来期も今期実績同様、最も良い水準の業種となる見込みです。



5. 雇 用

当期 予想
☔ ➔ ☔

当期の雇用判断D. I. (過剰－不足) は▲20.3と、対前期比3.7ポイントの改善となり、マイナス水準ながらも、最も良い水準の業種となりました。来期予想については、D. I. ▲20.3と横ばいとなり、今期実績同様、最も良い水準の業種となる見込みです。

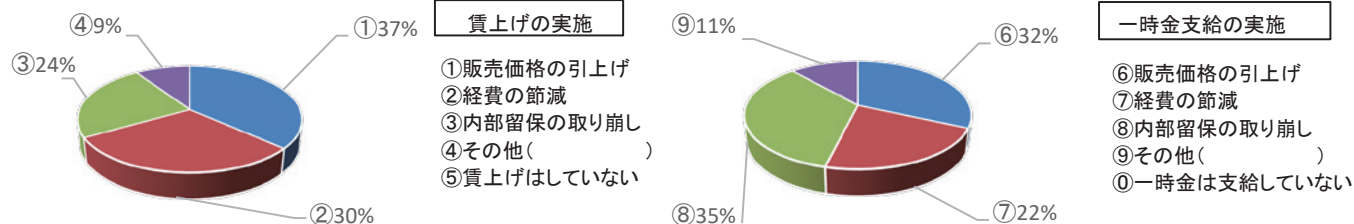


調 査 先 の コ メ ン ト

- 物件価格は上昇傾向ではあるが、仕入・販売は順調。先行きも見通し問題なし。
- 物件は出始めたが、高値が続いている。しかしながら、なぜか売れている。
- 建売注文等の仕入が難しくなっている。価格が高騰しているが、売上は順調に推移している。
- 自社で調査したところでは、依然として逗子市内、鎌倉市内（J R 鎌倉駅・江ノ電沿線）の戸建ての住宅需要は、堅調に推移している。
- 物件が市場に増えてしまっている。都内のマンション価格が上昇して、株価が上がっているが、景気が良いのか疑問である。
- 不動産業界における土地物件は、4月頃より増加しつつあると思われるが、価格が1年前に戻っておらず、高値の状態のために売買できる件数は少ない状況と判断している。所得者層の高低に関わらず、少し土地建物の価格が下がるまで見合わせし、待機したいと考える。
- お客様は、増加している感じがする。

特別調査 ……「アフターコロナと中小企業」

1. 賃上げ、一時金支給の原資について～(賃上げ実施企業 47%、一時金支給実施企業 25%)～



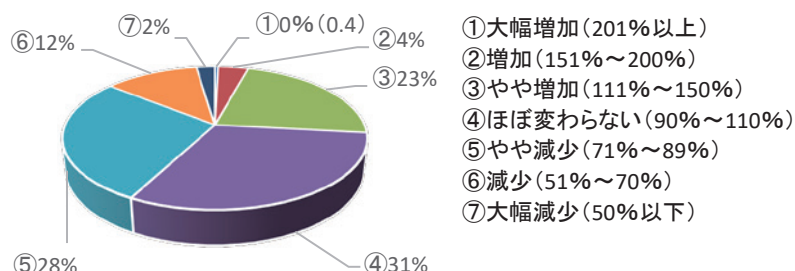
賃上げをした企業は、回答した企業453社のうち213社で47%であった。賃上げの原資は①「販売価格の引上げ」が37%で最も多く、次いで②「経費の節減」は30%であった。一時金支給を実施した企業は、回答した企業419社のうち104社で25%であった。一時金支給の原資は⑧「内部留保の取り崩し」が35%で最も多く、次いで⑥「販売価格の引上げ」が32%であった。

2. 原材料・仕入価格、電力・エネルギー価格上昇分の販売価格の転嫁状況について～(価格転嫁があまり進んでいない状況)～

販売価格への転嫁状況については、原材料・仕入価格では、「全て転嫁」が8%、「ほぼ転嫁」が20%、「やや転嫁」が37%であった。電力・エネルギー価格では、「全て転嫁」が5%、「ほぼ転嫁」が11%、「やや転嫁」が27%であった。両価格とも「やや転嫁できている」との回答の割合が多く、「転嫁できていない」はそれぞれ、35%、57%で、思うように販売価格に転嫁できていない状況がうかがえる。

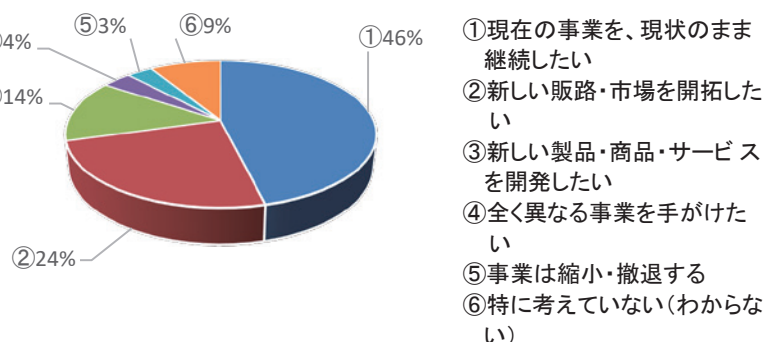
3. コロナウイルス感染拡大前と比較した売上状況について～(増加した企業 27%、減少した企業 42%)～

コロナウイルス感染拡大前と比較した売上状況については、④「ほぼ変わらない」が31%で最も多く、次いで⑤「やや減少」の28%であった。増加したと回答した企業は計27%、減少したと回答した企業は計42%であった。



4. 3～5年後の事業展開について～(何らかの形で事業展開を考えている企業は 42%)～

3～5年後の事業展開については、①「現在の事業を継続したい」が46%で最も多かった。次いで②「新しい販路・市場を開拓したい」が24%、③「新しい製品・商品・サービスを開発したい」が14%で多かった。一方、④「全く異なる事業を手がけたい」と回答した企業が4%であった。



5. 人材確保のための職場環境改善策について～(「賃上げ等、待遇面の改善」が最も多かった)～

人材確保のための職場環境改善策については、①「賃上げ等、待遇面の改善」が218社と最も多く、次いで②「ワークライフバランスの充実(長時間労働是正等)」が110社、④「人事管理(評価、処遇)の適正化」が104社、⑥「高齢者の就業促進」が101社と多かった。一方、⑩「特になし」と回答した企業が138社あった。

(最大3つまで複数回答)

文明堂印刷 株式会社

代 表 者：会 長 渡辺 重博
：代表取締役 渡辺 隆路
本 社 所 在 地：横須賀市東浦賀 1 丁目
3-12
創 業：1926 年（大正 15 年）
事 業 内 容：印刷業

1926 年創業、印刷業としてお客様の「伝えたい」想いをかたちにし、お客様の期待を超えた印刷物を手掛ける同社のお話を聞かせていただきました。



I. 景況について

当社は、円安やウクライナ情勢による電気代やガソリン代の高騰の影響を受けました。印刷業は、多くの設備を必要とする業種であり、近代印刷では最も主流となっているオフセット印刷などの大型の機械は、200 ボルトと高圧なこともあり、悩まされました。現在は落ち着いていますが、契約していた新電力会社もウクライナ情勢の影響を受け、電気代は一時通常の 1.8 倍まで高騰しました。

また、2000 年以降はデジタル化が普及し始め、当社では以前から営業台帳をシステムで行うなど、デジタル化に対応できるようにしてきました。今後、デザインの作成、印刷手法等、デジタル化は、ますます進んでいきます。業務する人がどれだけ便利になるかであり、デジタル化の普及を更なる業務効率化、事業発展に繋がっていきたいと思います。

～お客様の期待を超える～

II. 環境に優しい製品作り

印刷会社では紙や薬品を扱うことから、少しでも環境に優しい取り組みを行っています。オフセット印刷は、水と油の反発を利用した印刷方法で、多色刷りがきれいに仕上がる上、製版時間が短く、制作費用が安価であることから広く使われています。しかしながら、印刷工程で発生する廃液が排出されることもあり、当社では廃液の排出が少ない機械を導入したり、信頼できる専門業者に処理を依頼しています。また、社内では、自らがやらないといけないという意識を全員で持ち、ゴミやフードロス等を減らすといった小さいことからでも環境にいいことをやろうという意識の醸成に取り組んでいます。

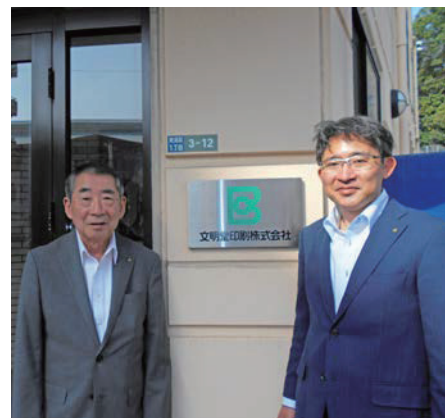
III. 従業員の育成

当社は、現場で実際に教えながら一緒に頑張っていくというのが育成方法です。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大以降、同じ職場でありながらコミュニケーションが減ってしまったこともあり、教育教材視聴による研修を導入しています。例えば社会人の基本としての、マナー研修動画を見て、教育に役立てています。

IV. お客様のために

当社は、お客様の想いや要望をかたちにする仕事であり、そこが仕事の醍醐味だと思います。自分を売り、提案し、人間関係を作り、お客様の期待を超えた印刷物を届け、次の仕事に繋がっていきます。

2026 年に
100 周年を
迎えます。
今後も社員
一同、更なる
品質向上に
努めていき
ます。



会長 渡辺 重博 代表取締役 渡辺 隆路

かなしん よろず相談承り処 にご相談ください！

かなしん よろず相談承り処は、かながわ信用金庫が運営する「なんでもご相談窓口」です。



住宅ローンの相談もOK！

教育資金の相談もOK！

年金・終活の相談もOK！

資産運用の相談もOK！

かながわ信用金庫 かなしん よろず相談承り処 場 所：横須賀市大滝町2丁目21番地（三笠ビル商店街内）
フリーダイヤル：0120-0468-01（受付時間 10：00～19：00） 営業時間：10：00～19：00（12月31日、1月1、2、3日を除く）

《かなしん よろず相談承り処について》

- ◎平日夜まで、土日も開いています。
 - ・平日・土日ともに19時まで、各種ローンや資産運用、創業や事業承継等の幅広いご相談を承ります。また、金融商品以外の相談もお待ちしています。昼間はお仕事などでお忙しい方も、夕方や土日にご相談いただけます。
 - ◎専門家による個別相談を開催します。
 - ・税理士などによる個別相談を定期的に開催しています。お客さまのプライバシーに配慮した専用ブースもご用意していますので、安心してご相談ください。
 - ◎セミナーを開催しています。
 - ・2階のセミナールームでは、暮らしやライフプラン、事業経営、健康など様々なテーマのセミナーを開催しています。セミナーのお知らせは、随時ホームページにてご案内します。
 - ◎サロンスペースをご用意しています。
 - ・1階には、皆さまにおくつろぎいただけるサロンスペースをご用意しています。
- ※ 駐車場は、市役所前公園の地下駐車場をご利用ください。窓口にて駐車チケットをお渡しします。

本レポートは、情報提供のみを目的とした標記時点における当金庫の考え方を示したものです。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。また、この資料は、当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

発 行 かながわ信用金庫
住 所 〒238-0004 横須賀市小川町7番地
TEL 046-826-1515（平日9:00～17:00）
編 集 株式会社 かなしんトータルサービス
住 所 〒235-0023 横浜市磯子区森1丁目10番10号
TEL 045-263-6363（平日9:00～17:00）

 **かながわ信用金庫**
かなしん